

公益財団法人日本骨髄バンク 第29回通常理事会 議事録

1 日 時 2026 年(令和8年)5月29日(金) 17時10分から17時35分

2 開催方法 WEB会議(本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た)

3 定 足 数 理事現在数11名中、出席10名

(1)出席理事：10名(以下、敬称略)

岡本 真一郎(理事長)、佐藤 敏信(副理事長)、日野 雅之(副理事長)、
浅野 史郎(業務執行理事)、石丸 文彦、大西 達人、鈴木 利治、高橋 聡、
橋本 明子、福田 隆浩

注)定款第46条に規定する理事現在数の過半数を充足し、本理事会は成立した。

(2)欠席理事：1名

瀬戸 愛花

(3)出席監事：2名

岩崎 裕彦、沓沢 一晃

(4)陪 席 者：4名

新谷 幸子(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室長)

関口 晃司(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐)

高波 直樹(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室係長)

古館 賢一(日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課参事)

(5)事 務 局：5名

小川 みどり(事務局長兼ドナーコーディネート部長兼医療情報部長)

田中 正太郎(総務部長)、関 由夏(移植調整部長)、水口 詞代(広報渉外部長)、

荒井 茂(総務部TL)

4 開 会

岡本理事長が通常理事会の開会を宣言した。理事会運営規則第3条に基づき、事務局の出席が認められた。

5 議事録署名人の選出

定款第51条第2項により出席した理事長及び監事が議事録の署名にあたりとされた。

[議 事]

6 審議事項

第1号議案：令和7年度事業報告(案)

第2号議案：令和7年度患者負担金等支援基金審査結果(案)

第3号議案：令和7年度決算報告(案)

第4号議案：第15回通常評議員会の開催について

7 報告事項

- (1) 調整医師新規申請・承認の報告
- (2) 令和8年度の賞与支給月数について

8 審議事項の経過概要と結果(敬称略)

第1号議案から第3号議案については相互に関連することから一括で審議を行った。

(1) 第1号議案：令和7年度事業報告(案) … 小川事務局長

事業報告書については、5月の業務執行会議においてポイントを説明していることから、前回の意見を反映させた修正点のみ説明する。

30ページ下段の表(取消理由別登録患者数の推移)を削除する。大きな理由としては、上段の図(2024年登録患者の動き)が、直近の断面ではあるが基本的には同じで、こちらの方が患者視点で見てわかりやすい。これから登録したらどのようになりそうであるとか、これまでの人がどうであったのかという意味でわかりやすいので、上段の図を活かし、下段の表は削除する。

10ページの「国内患者の移植率:54.6%」について、移植に至らなかった人の中には臍帯血移植など別の治療ができた人たちも多く含まれるので、その辺りを追加付記した。

(2) 第2号議案：令和7年度患者負担金等支援基金審査結果(案) … 鈴木委員長

患者負担金等支援基金審査委員会は2月3日と5月20日に、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度患者負担金の減額免除等を審査し、免除決定が妥当であり免除額が適正であることを確認した。

令和7年度の患者負担金免除総額は4783万3280円となり、こちらは補助金により対応できたことから、生活保護受給世帯の患者に対するドナーの入院時差額ベッド代93万6208円と患者HLA確認検査等にかかる本人確認検査費用1205万6220円を加えた合計1299万2428円を、患者負担金等支援基金から一般正味財産へ振り替えたい。

(3) 第3号議案：令和7年度決算報告(案) … 田中総務部長

令和7年度決算としては、収入16億4900万4539円、支出16億874万675円となり、経常増減額は約4,000万円の黒字。ただし経常外費用として、地区事務局の統合により転勤が難しく退職となった地区事務局職員の特別退職金を合計2,100万円計上したため、最終的な増減額として約1,900万円の黒字となった。

前年度比で数字が大きい項目を中心に内訳を説明する。受取寄付金等は約1,800万円増加している。寄付金総額では令和6年度より7,000万円ほど減少しているが、6年度は大口の遺贈等で患者負担金等支援基金への充当を希望された額が大きかったため、一般正味財産に計上される寄付金額としては、令和7年度の方が大きくなっている。受託業務収益について約3,750万円増加しているが、コーディネート支援システムの運用保守に関し、スワブ導入に伴うNGS対応をするための費用を日本赤十字社から受託をしたことによる。受取補助金等の約6,700万円増は、スワブトライアル3のための国庫補助金のうち、検査費用などを計上しているため。受取患者負担金が約2,700万円増加しているが、採取件数が少し増加したことに加え、国

際間の移植が前年度より大きく増えたことが主な要因。収入面はこれらの内容から、前年度比で約 1 億 5000 万円強の増となった。

支出について。減価償却費が約 1,900 万円増加。令和 6 年度に実施したシステムの仕様変更にかかる減価償却費の計上が令和 7 年度から本格的に開始されたことによる。委託費が約 7,100 万円増加しているが、会計士からの助言を踏まえ、これまで支払手数料に計上していた派遣職員の人件費や外部委託費について、計上区分を委託費に変更をしたことによるもの。支払手数料が約 1,200 万円増加しているが、地区事務局の統合に伴う移転費用や、新規職員採用に係る経費が大きく発生したことに加え、AC ジャパンの再開、スワブトライアル 3 に関連する費用が増加したことによる。システム関連業務委託費が約 4,600 万円増加しているが、コーディネート支援システムのスワブ導入に伴う大規模改修を実施したことにより、委託費用が発生したため。支払検査料の約 5,000 万円増は、スワブトライアル 3 関連の検査費用が増えたことによる。支出は合計で約 2 億 2600 万円増加。

その結果、規模は縮小しているが、令和 7 年度も黒字となった。黒字分については、公益法人の収支相償の観点から公益充実資金に積立て、昨年度までに積立てていたスワブオンライン登録対応資産を積立上限額まで充当するとともに、ドナー補償などに対応するドナー補償等対応資産として積立て、収支相償に対応したい。

(4) 監事監査報告 … 沓沢監事

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度における監事監査を、令和 8 年 5 月 26 日に実施した。監事監査では、佐久間公認会計士から、会計監査報告の説明を受けた他、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きにより確認を行い、監査役として特に指摘する事項はなかった。業務執行についても、業務執行会議や理事会に出席し、業務状況の報告を受けるなど必要と思われる監査を実施した結果、いずれも適正であったことを、ここに報告する。

審議の結果、第 1 号議案から第 3 号議案について、全会一致で可決承認された。

(5) 第 4 号議案：第 15 回通常評議員会の開催について … 田中総務部長

第 15 回通常評議員会を定款第 21 条等の規定により、2026 年 6 月 19 日金曜日 16 時から開催。審議事項としては、令和 7 年度事業報告案、令和 7 年度患者負担金等支援金審査委員会の審査結果案、令和 7 年度決算報告案、理事の任期満了に伴う改選を予定している。

理事改選に関連し、今回の理事改選時に、公益法人の制度改正対応として、「外部理事」を選任する必要がある。外部理事とは、いわゆる法人の私物化を防止することを目的としたもの。外部理事に就任した場合でも、理事としての権限や役割自体については、従来から大きく変更が生じるものではない。

審議の結果、第 4 号議案について、全会一致で可決承認された。

9 業務執行状況報告

岡本理事長から業務執行状況報告があった。第28回通常理事会以降、本日までに業務執行会議を計2回開催し、各種議題を協議したことが報告された。続いて佐藤副理事長、日野副理事長、浅野業務執行理事が業務執行状況をそれぞれ口頭報告した。

10 報告事項の経過概要と結果(敬称略)

(1) 調整医師新規申請・承認の報告 … 関移植調整部長

新規登録の調整医師が3名、異動・辞退1名、合計で1,268名。

(2) 令和8年度の賞与支給月数について … 田中総務部長

当法人の賞与に関し、期末手当・勤勉手当それぞれの支給割合を年度ごとに別途定めており、前年度の人事院勧告の支給月数を考慮し、理事長が定めている。令和8年度については、年間4.65ヶ月をベースとする。賞与の支給予定日は上期6月30日、下期が12月10日を予定。

以上